

KENWOOD

CDレシーバー

K-CD01

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

ソースセレクション

ディスプレイコントロール

CD/Changer/KSF モード

TUNER モード

オーディオコントロール

Function

Functional Operation

EZ Operation

オプション

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

© B64-2869-00/01 (J) (TKR)

困ったときは…

Help

Help

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8
CDの取り扱い	10

ここさえ読めばひとまずOK！
イージーオペレーション

EZ Operation

CD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた	12
----------------------	----

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

Help ?Operation	32
Help ?Word	36

取り付け方法など

付 録

取り付け時のご注意	40
接続	42
取り付け	45
保証とアフターサービス	46
仕様一覧	47

使いこなし！ ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセレクション	14
ソース選択	
ディスプレイコントロール	15
ディスプレイ表示切り替え	
CD/Changer/KSFモード	16
トラック／ファイルサーチ	
ディスク／フォルダサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ	
スキャンプレイ	
リピートプレイ	
ランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
テキストスクロール	
TUNERモード	20
バンド切り替え	
チューニング	
プリセットチューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
オーディオコントロール	22
オーディオコントロール	
ディフェルト設定	
サブウーファー出力設定	
Function	24
ファンクションセット	
セキュリティコード	
時刻合わせ	
LXアンプコントロール	

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

TVコントロール30

- チャンネル選択
- バンド/ビデオ切り替え
- プリセットコール
- マニュアルメモリー
- 音声多重切り替え

Functional Operation

ソースセレクション

ディスプレイコントロール

CD/Changer/KSF モード

TUNER モード

オーディオコントロール

Function

EZ Operation

オプション

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

Help

? Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? Word

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した【付録】があります。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



CDの操作

CDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、CDとMDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。



チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。

■ OFF SRC

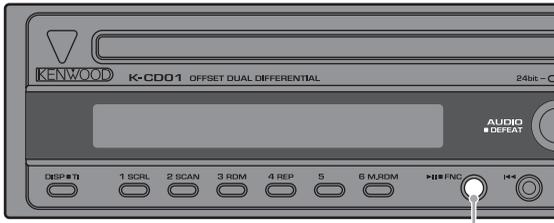


1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。



この辺ボタンABC...
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

A

ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

内容の説明

表示される文字または内容

ファンクションセット

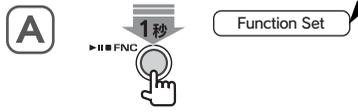
操作時のピーブ音などの各種の機能を設定します。

1 設定項目があるソースモードにします



ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

2 ファンクションセットモードにします



Function Set

- ソースセレクション
- ディスプレイコントロール
- CD/Changer/KSF モード
- TUNER モード
- オーディオコントロール
- Function

オプション

Help

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

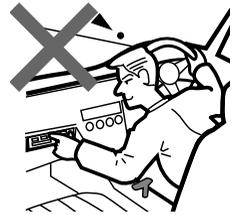
交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

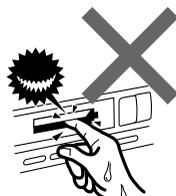
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、CDプレーヤー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、CDプレーヤー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

●
1997年以前のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●
“O-Nスイッチ”の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは“N”側に設定してください。

●
接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●
別売品のCD/MDスイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を1台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

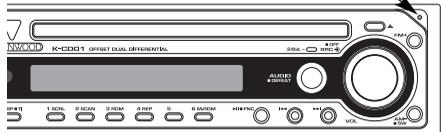
ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたとき交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help?Operation」(32ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン



●
リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX EXT”と表示される。
- KCA-S210A、CA-C1AXが接続されていないときに“AUX EXT”と表示される。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてCDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内側に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

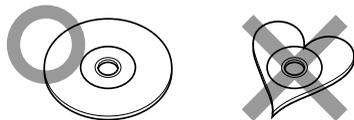
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

本機に使用するリモコンについて

本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

 マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

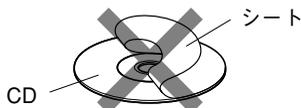
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

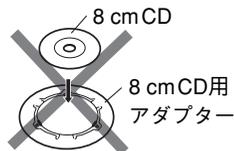
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



本機のお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

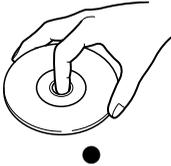
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

CDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。

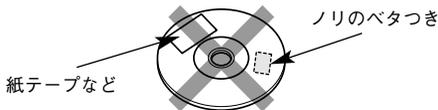
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ
などにも書かれています。それらの注意事項も
読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー
プなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど
のノリがはみ出したり、はがした痕があるものは
お使いにならないでください。そのままCDプレー
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障
することがあります。



CDの保存

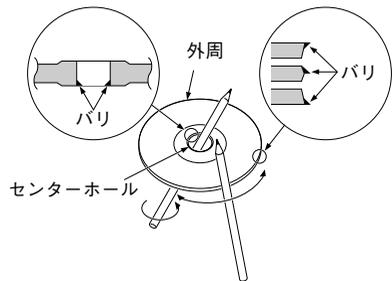
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの
上)など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し
て、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保
存しないでください。

新しいCDを使うときは

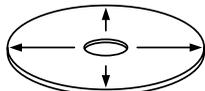
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや
外周部に“バリ”がないことを確認してください。
“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入でき
なったり音飛びの原因になります。“バリ”が
あるときは、ボールペンなどで取り除いてから使
用してください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

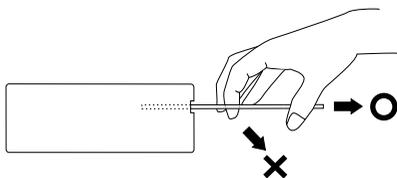
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

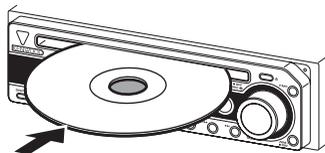
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。



CDのプレイは簡単！ CDを差し込むだけです。



CDをプレイするときは…
プレイするCDを差し込みます。



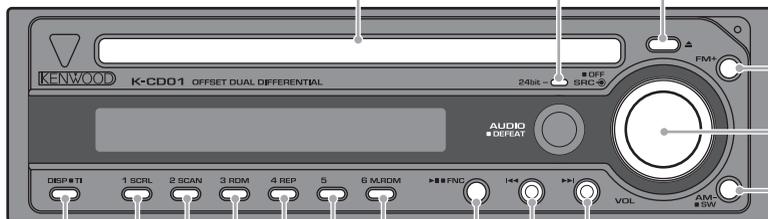
CDを取り出します。



24bitインジケータ

内蔵のCDプレーヤーではオフセットデュアル ディファレンシャル D/A システム*が動作します。このとき24bitインジケータが点灯します。

*「Help?Word」(36ページ)をご覧ください。



1秒以上押すと、交通情報を受信します。

もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。



交通情報を受信中に音量を調整すると、次回から交通情報を受信したときは自動的にこの調整した音量になります。



演奏を一時停止します。

もう一度押すとプレイします。



メモリーされている放送局を選びます。

2秒以上押すと、受信中の放送局を、ボタンにメモリーします。



安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

注意



CDの操作



チューナーの操作



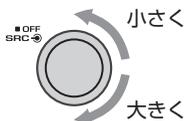
共通の操作

**電源をオン/オフします。**

押すと電源がオンになり、1秒以上押すと、電源がオフになります。

**CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。**

CDが入っているときに押すと、CD、FM/AM放送、Standbyに切り替わります。CDが入っているときはCDインジケータが点灯します。

**音量を調整します。****FM放送バンド (FM 1/FM 2) を切り替えます。****AM放送バンド (AM 1/AM 2) を切り替えます。****プレイする曲を選択します。****受信する放送局を選びます。**

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。チューニングモードの設定により、メモリーしている放送局を順に受信するようになり、周波数を1ステップずつ変えたりできます。(24ページ)

**交通情報の周波数を (1620kHz/1629kHz/522kHz) 切り替えます。**

ソースセレクション

ディスプレイコントロール

CD/Changer/KSF モード

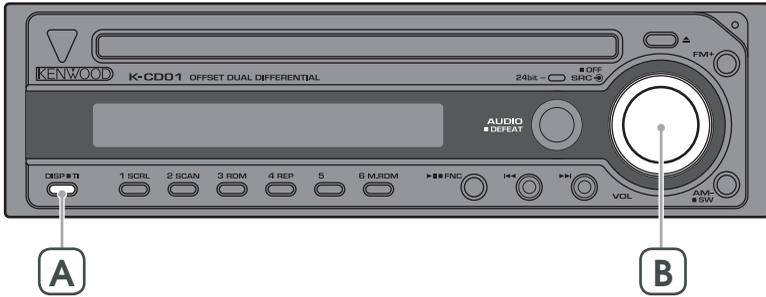
TUNER モード

オーディオコントロール

Function

オプション

ソースセレクション /



ソース選択

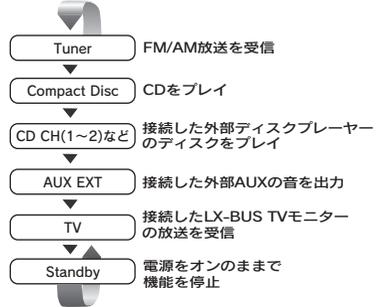
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。



- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
 - “CD CH (1~2)” : CDチェンジャー
 - “MD CH (1~2)” : MDチェンジャー
 - “Disc CH (1~2)” : ディスクチェンジャー
 - “CD2” : CDプレーヤー
 - “HDD EXT” : HDX-710 (別売品) などの音楽ファイル (KSF) ソース
- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXIに入力したAUXソースは、次のように選択できます。
 - KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合 : “AUX EXT” 表示を選択。
 - CA-C1AXIに入力したAUXソースを選ぶ場合 : “Disc CH” 表示を選択。
(確定後に “AUX EXT” 表示になります)

ディスプレイコントロール Functional Operation

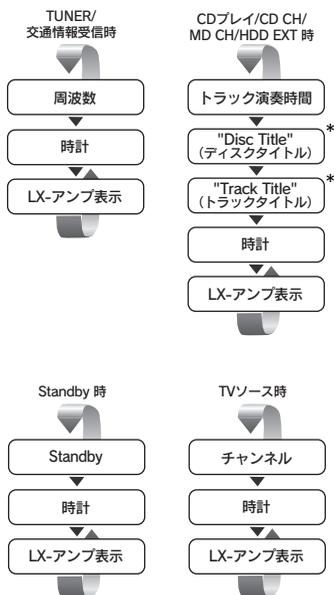
プレイするソースを選びます。
また、ディスプレイに表示する情報の設定をします。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

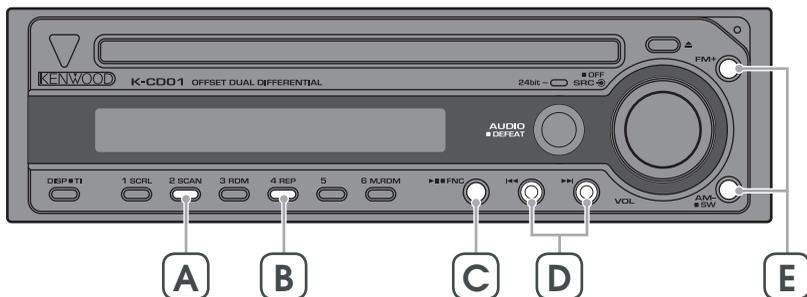


押すたびに次の順で切り替わります。



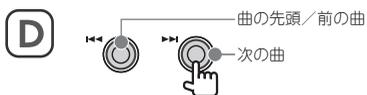
- *本機内蔵CDとタイトル機能に対応した別売品のユニットでプレイ時のみ選択可能です。
- ディスクタイトル、トラックタイトルが記録されていないディスクを再生中に上記の表示に切り替えると、演奏時間が表示されます。
- LXアンプ表示は、LXアンプを接続時に表示されます。表示内容は、LXアンプのディスプレイモードで設定します。詳しくはLXアンプの取扱説明書をご覧ください。

CD/Changer/KSF モード



トラック/ファイルサーチ

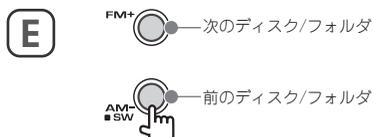
プレイする曲を選びます。



ディスク/フォルダサーチ

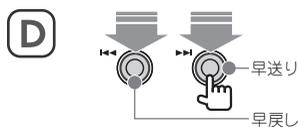
(ディスクチェンジャー、KSFのみ)

プレイするディスクやフォルダを選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

● KSFをプレイ時は、マニュアルサーチできません。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

CDや別売品のディスクチェンジャー、HDX-710の音楽ファイル（KSF）ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCDの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

● スキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで…



その曲からプレイされます。

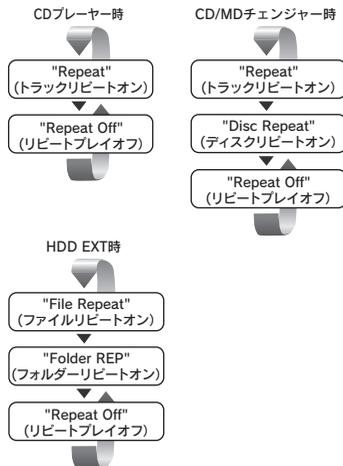
- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。
- スキャンプレイ中は、演奏時間を表示していると“SCAN”表示に替わります。

● リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク内の曲を繰り返しプレイします。

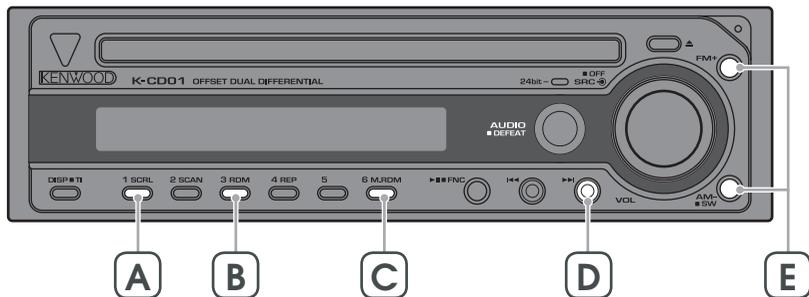


押すたびに、次のようにオン/オフします。



- リピートプレイ中は、演奏時間を表示していると“REP” / “D.REP”表示に替わります。

CD/Changer/KSF モード



ランダムプレイ

現在のディスクやフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

- **D** ^{FM} を押し、次の曲をランダムに選択します。(KSFプレイ時は **E** ^{FM} または **AMP** ^{SW} を押し)
- ランダムプレイ中は、演奏時間を表示していると“RDM”表示に替わります。

マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

- **D** ^{FM} を押し、次の曲をランダムに選択します。
- マガジンランダムプレイ中は、演奏時間を表示していると“M.RDM”表示に替わります。

テキストスクロール

テキスト表示を、スクロール設定が“Off”のときにスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(15ページ)を参照して、タイトル表示にします。

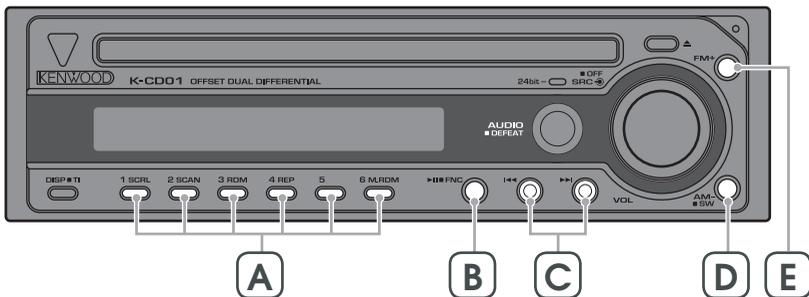
2 スクロール表示します



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール可能なテキスト表示については、「Help ?Word」の「AT.SCRL」(36ページ)を参照してください。
- スクロール設定を“On”にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定は、「ファンクションセット」(24ページ)の“AT.SCRL”項目で選択できます。
- 「ファンクションセット」(24ページ)の“Display”項目を“Off”に設定しているときは操作できません。

TUNER モード



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“**AUTO1**”のとき (AUTO1インジケータが点灯しています) 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードが“**AUTO2**”のとき (AUTO2インジケータが点灯しています) メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は次のページを参照してください)

チューニングモードが“**Manual**”のとき 押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(24ページ)の“Seek”項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。
- FMステレオ放送の受信状態が悪い場合は、「ファンクションセット」(24ページ)の“MONO”項目でモノラル音声に切り替えることで聴き易くなる場合があります。

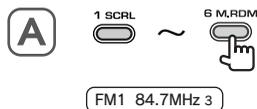
プリセットチューニング

メモリーボタン(1~6)にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

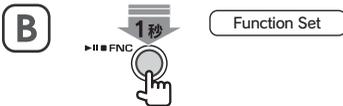
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

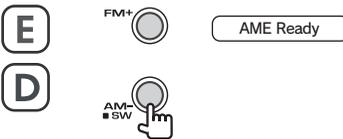
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします



“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。

6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

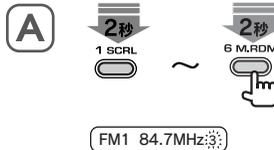
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

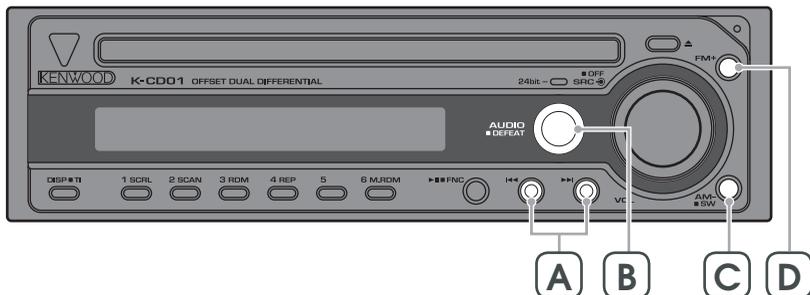


3 メモリーするボタン(1~6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

オーディオコントロール



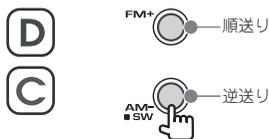
オーディオコントロール

音量バランスなどを調整します。

1 オーディオコントロールを開始します



2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Loudness (ラウドネス設定)	Off / On
Bass (低音の音量レベル)	-09~00~+09
Middle (中音の音量レベル)	-09~00~+09
Treble (高音の音量レベル)	-09~00~+09
Balance (左右の音量レベル)	L15~00~R15 [左] [右]
Fader (前後の音量レベル)	R15~00~F15 [後] [前]
SW-Level (サブウーファー プリアウト出力レベル)	-15~00~+15
V-Offset* (ソース間のレベル差)	-08~00

(太字は初期設定値)

- * マークが付いた項目の詳しい説明は「Help ?Word」のオーディオコントロール(36ページ)を参照してください。
- “Loudness”、“Bass”、“Middle” および “Treble” は「ディフェルト設定」(23ページ)がオフのときに調整できます。
- “SW-Level” は「サブウーファー出力設定」(23ページ)がオンのときに調整できます。
- “V-Offset” は各ソースごとに設定できます。

音量バランスなどを調整します。

4 オーディオコントロールを終了します



ディフェルト設定

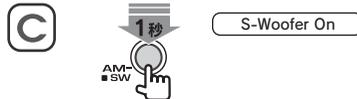
ラウドネスやトーンコントロール回路をバイパスして音質を向上します。



1秒以上押すたびにディフェルトがオン/オフします。
ディフェルトをオンにするとトーンコントロール回路をバイパスして音質が向上します。

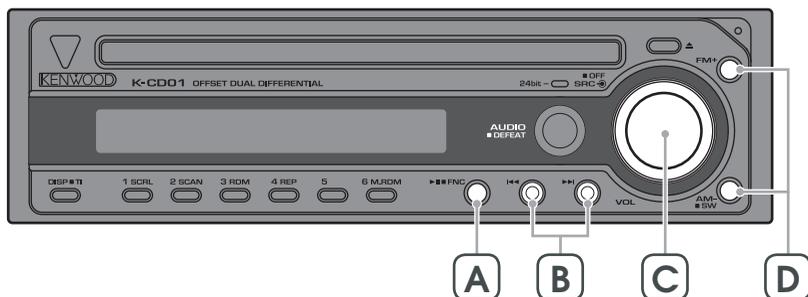
サブウーファー出力設定

サブウーファー出力の設定をします。



1秒以上押すたびにサブウーファー出力がオン/オフします。

Function



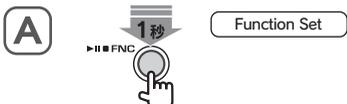
ファンクションセット

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

1 設定項目があるソースモードにします

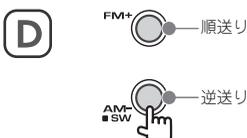


2 ファンクションセットモードにします



“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

- * マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help ?Word」のファンクション(36ページ)を参照してください。

4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

Standbyモード中のみ

設定項目	設定値
Contrast* (ディスプレイの文字のコントラスト調整)	1 ~ 7 ~ 11
Display* (表示モード選択)	On / Off
Beep* (ピープ音)	On / Off
CODE STANDBY* (セキュリティコードの登録)	登録の方法は26ページをご覧ください。
NAV. ATT* (ナビ音声ガイド時のミュート設定)	On / Off
AMP Mute* (内蔵アンプの出力設定)	On / Off
S.I.* (盗難防止用警告ランプ設定)	On / Off
Clock Adjust (時刻の調整)	調整方法は28ページをご覧ください。

(太字は初期設定値)

本機の各種機能を設定します。

CD/CD CH/MD CHモード中のみ

設定項目	設定値
AT.SCRL* (タイトルテキスト オートスクロール)	On / Off
AMP Bass* (外部アンプのバス調整)	FLT / +6 / +12 / +18
AMP Freq* (外部アンプの周波数調整)	Low / NML

(太字は初期設定値)

● “AT.SCRL” 項目は別売品のユニット (チェンジャーなど) では、テキスト機能に対応していないと設定できません。

TUNERモード中のみ

設定項目	設定値
Seek* (チューニングモード)	AUTO 1 / AUTO 2 / Manual
MONO* (モノラル受信)	On / Off
AME Ready (オートメモリー)	操作の方法は21ページ をご覧ください。
AMP Bass* (外部アンプのバス調整)	FLT / +6 / +12 / +18
AMP Freq* (外部アンプの周波数調整)	Low / NML

(太字は初期設定値)

● “MONO” 項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。

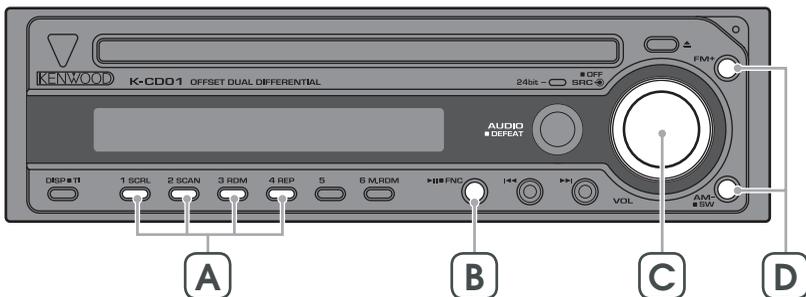
LXアンプを接続時のみ

設定項目	設定値
AMP Control (LXアンプコントロールの設定)	操作の方法は29ページ をご覧ください。

5 ファンクションセットモードを終了します



Function



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。
- コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 Standbyモードにします

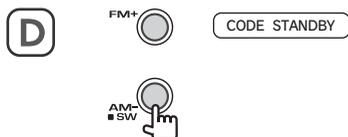


2 ファンクションセットモードにします



“Function Set” と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します



4 セキュリティコード入力を開始します



“CODE ****” と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	1 SCRL	2 SCAN	3 RDM	4 REP
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します



7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

セキュリティコード登録を中止するには…



8 セキュリティコードを確認登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右項をご覧ください。

- 手順5と違うコードを入力すると、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します



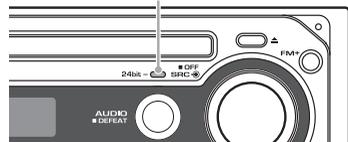
2 セキュリティコードを確認します



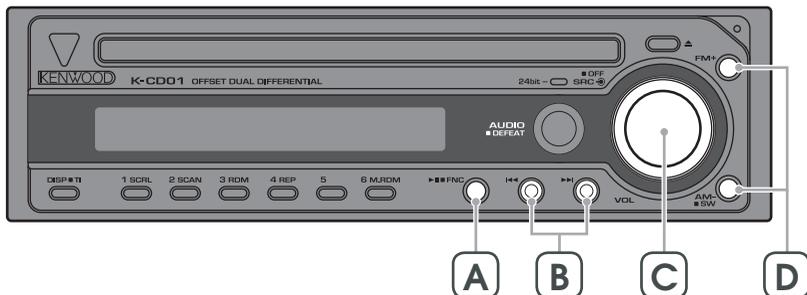
本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると“CODE NG!”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、再び を押して電源をオンしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にS.I. (セキュリティインジケター) 機能を採用しています。「ファンクションセット」(24 ページ) の“S.I.”項目を“On”にしておくと、ACCをオフしたときにLEDが点滅し、盗難防止ランプの代用として使用できます。

セキュリティ インジケター



Function



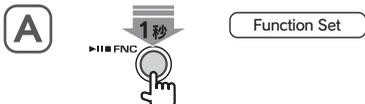
時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

1 Standbyモードにします

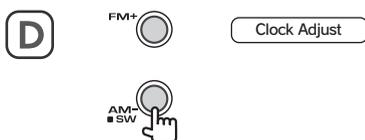


2 ファンクションセットモードにします

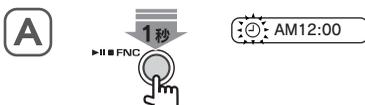


“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

3 時刻調整項目を選択します



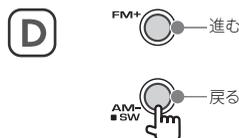
4 時刻合わせを開始します



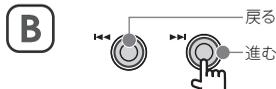
時計表示が点滅するまで押し続けます。

5 時刻を合わせます

“時” を合わせる



“分” を合わせる



6 時刻合わせを終了します



分を調節したときは、00秒からカウントがスタートします。

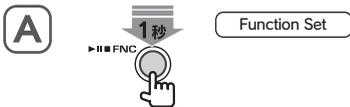
7 ファンクションセットモードを終了します



LXアンプコントロール

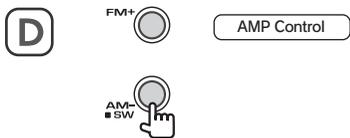
別売品のLXアンプが接続されているときに、本機からコントロールすることができます。

1 ファンクションセットモードにします



“Function Set”と表示されるまで押し続けます。

2 アンプコントロールモードを選択します

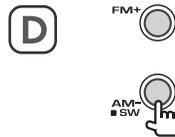


3 アンプコントロールモードにします



アンプコントロール項目が表示されるまで押し続けます。

4 調整するアンプコントロール項目を選択します



アンプコントロール項目の詳細については、LXアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

5 アンプコントロール項目を調整します



6 アンプコントロールモードを終了します

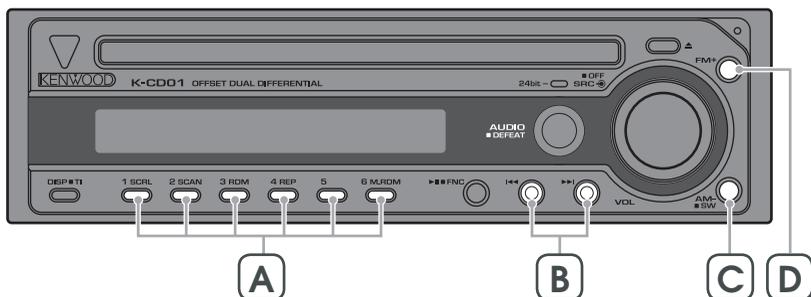


7 ファンクションセットモードを終了します



LXアンプコントロールはStandby中は設定できません。

TVコントロール



チャンネル選択

受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド／ビデオ切り替え

TVのバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびにTVバンドとビデオ入力が切り替わります。

プリセットコール

TVのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します



2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



TV1 1ch 3

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされているチャンネルが呼び出されます。

別売品のLX-BUS TVモニター“HDX-710”などが接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

● マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

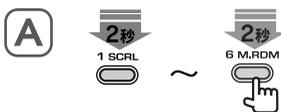
1 バンドを選択します



2 メモリーする放送局を選択します



3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



TV1 1ch 3

ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

● 音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- スピーカーケーブルがシャーシなどに接触している。

- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(42ページ)を見て正しく接続してください。
- スピーカーケーブルを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。

音が出ない/音が小さい

- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- ボリュームオフセットを設定している。
- 「ファンクションセット」の“AMP Mute”項目が“On”に設定されている。

- “Fader”(フェダー)や“Balance”(バランス)を正しく調整してください。(22ページ)
- “V-Offset”(ボリュームオフセット)を正しく調整してください。(22ページ)
- 「ファンクションセット」(24ページ)の“AMP Mute”項目を“Off”に設定してください。

操作スイッチを押しても動作しない

内蔵のマイコンが誤動作している。

リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(42ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(44ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

オーディオコントロール

オーディオコントロールモードにならない

Standbyソースにしている。

Standbyソース中はオーディオコントロールの操作ができません。ソースモードを切り替えてから操作してください。(14ページ)

“Loudness” および “Bass”、“Middle”、“Treble” 項目が表示されない

ディフィート機能をオンに設定している。

「ディフィート設定」(23ページ)で“Defeat Off”に設定してください。

“SW-Level” 項目が表示されない

サブウーファー出力をオフに設定している。

「サブウーファー出力設定」(23ページ)で“S-Woofer On”に設定してください。

Function

“CODE STANDBY” 項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

CD/Changer/KSF mode

SRCボタンを押してもディスクに切り替わらない

ディスクが入っていない。

プレイするディスクを入れてください。

ディスクが入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が 30° を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30° 以下になるように取り付け直ししてください。
- しっかりと取り付け直ししてください。なお、駐停車中에서도音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

- CDが裏返しである。
- CDが異常に汚れている。
- 結露している。
- CDが内部的に検出されていない。

- レーベル面を上にして入れ直してください。
- 「[CDの取り扱い]」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
- しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
- リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。(8ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(18ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートプレイがオンになっている。

リピートプレイをオフにしてください。(17ページ)

曲の先頭しかプレイされない

スキャンプレイがオンになっている。

スキャンプレイをオフにしてください。(17ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

リピートプレイをオフにしてください。(17ページ)

曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(18ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(18ページ)

マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

トラックサーチできない

チェンジャー内のディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

テキストやタイトル表示に切り替えても演奏時間が表示される

テキストやタイトルが記録されていないディスクをプレイ中に表示を切り替えた。

テキストやタイトルが記録されていないディスクでは演奏時間を表示します。

文字がスクロールされない

- 表示部にすべての情報文字が表示されている。
- 表示モード選択がオフになっている。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はオートスクロールされません。
- 「ファンクションセット」(24ページ)で“Display”項目を“On”に設定してください。

テキスト/タイトルが表示されない

- 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、“O-Nスイッチ”がない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”を“O”にしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーに“O-Nスイッチ”が付いている場合は、“O-Nスイッチ”を“N”にしてください。

共通

LX-BUS TVモニター

(エルエックス バス テレビモニター)

外部接続された別売品のTVモニター (f-LZ77など) やナビゲーションシステム (HDX-710) です。

オフセット デュアル ディファレンシャル D/A システム (Offset Dual Differential D/A System)

デジタル信号とオフセットした信号を作ります。各信号を左右別々のD/Aコンバーターで処理することにより、セパレーションが良く、ノイズの少ないアナログ音声に変換できるシステムです。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー (KDC-C520, KDC-C510, KDC-C406など)、マルチメディアプレーヤー (VD-C77) です。

交通情報：TI

(トラフィックインフォメーション)

高速道路などでは決められた周波数で交通情報を放送しています。CDを聴いていても、すばやく交通情報を聴くための機能です。

オーディオコントロール

Defeat

(ディフィート)

“On” に設定すると、ラウドネスやトーンコントロール回路を通らないように設定できます。

回路が短くなるので音声出力のクオリティをアップさせることができます。

V-Offset

(ボリューム オフセット)

オーディオコントロールで“V-Offset”を設定すると、聴く時点での音量に対して、各ソースごとに音量差を設定しておくことができます。

ファンクション

AMP Bass

(アンプ バス コントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

AMP Freq

(アンプ フリケンシー コントロール)

“AMP Bass”で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。

“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。

詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AMP Mute

(アンプ ミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“On”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

AT.SCRL

(オート スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトルを選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“On”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておく、表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。

Beep

(ビーブ)

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

なお、Beep音はプリアウトからは出力されません。

CODE STANDBY

(セキュリティコード)

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

(操作方法は26ページをご覧ください)

Contrast

(コントラスト)

文字のコントラストを設定することができる機能です。

Display

(ディスプレイ)

“Off”に設定すると、通常の表示を消して音声出力のクオリティをアップさせることができます。

ただし、何か操作しているとき、CDなどのトラックが変わったとき、Standbyソース中は表示がされません。

また、“Off”に設定しているときは「テキストスクロール」(19ページ)の操作が行えません。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聴き易くなる場合があります。

NAV. ATT

(ナビミュート)

本機にナビゲーションシステムを接続しているときに、この機能をオンにしておく、現在聴いているソースの音量を一時的に小さくし、ナビゲーションの音声を聴きやすくするものです。

Seek

(チューニングモード)

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1：放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

S.I.

(セキュリティインジケータ機能)

この機能をオンにしておく、ACCをOFFにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。



無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- EJECT** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- Error 04** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Track** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- HOLD** : ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げたから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- LOAD (点滅)** : ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。
- CD (点滅)** : CDプレーヤーが正常に動作していない。
→CDを入れなおしてください。CDが取り出せない、またはCDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

取り付け時のご注意

警告



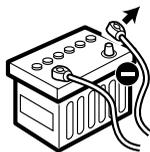
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



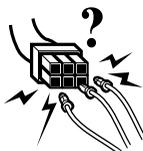
実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



注意



車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

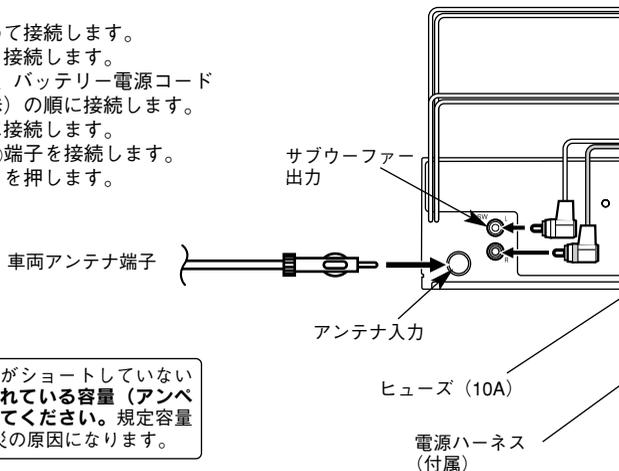
接続



最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

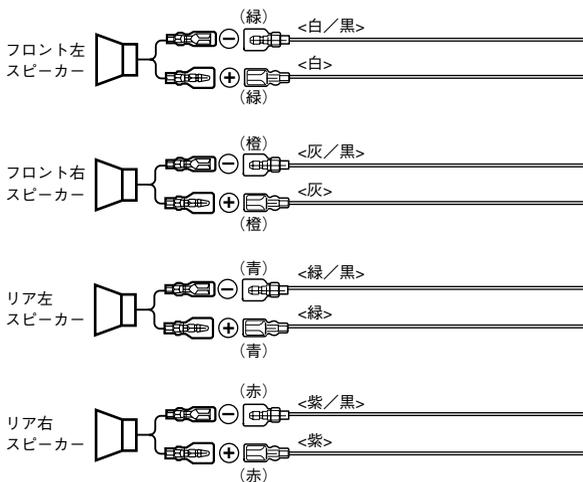
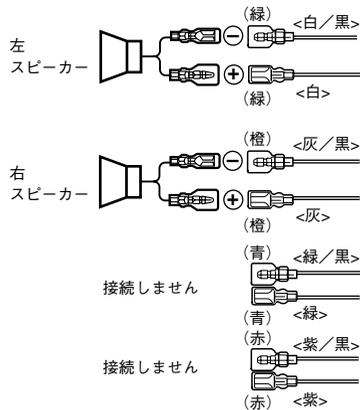
1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタン（8ページ）を押します。



注意

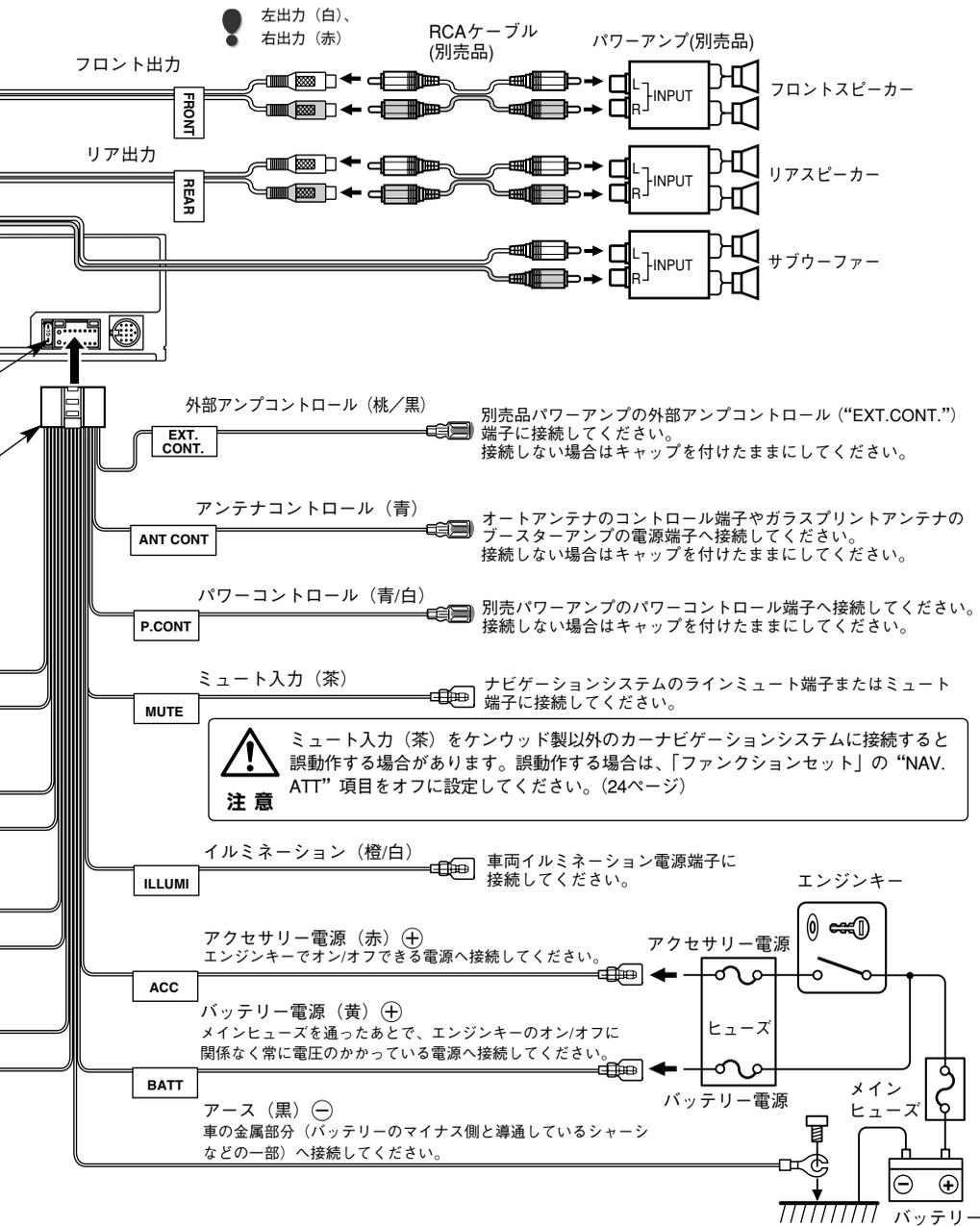
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意

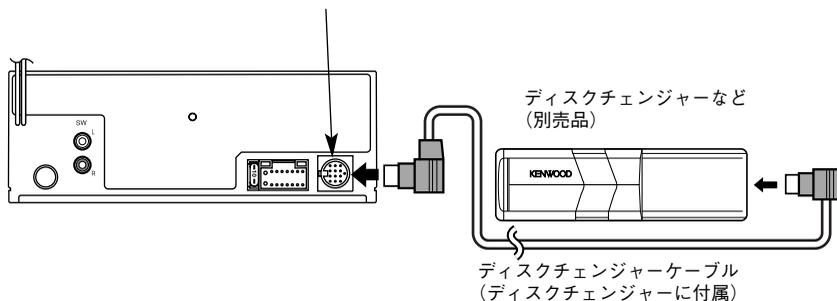
- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



接続

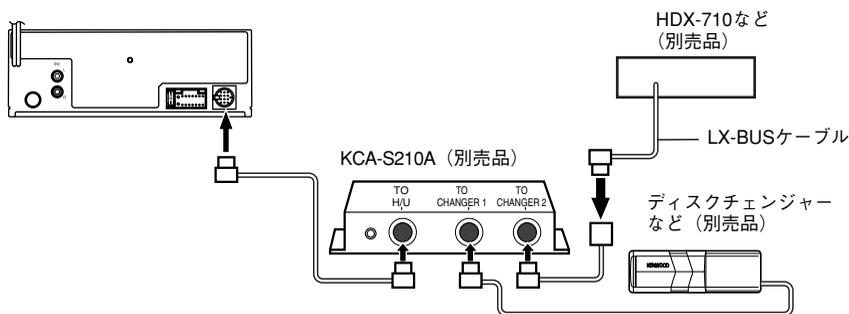
チェンジャーなどのオプションを接続する場合

外部ディスクプレーヤー/LX-BUSシステム端子
詳しい接続のしかたは接続するユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。



- 別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。

KCA-S210A (別売品) を使ってLX-BUS TVモニターを接続する場合



- KCA-S210Aに付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
- 別売品に“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- HDX-710などは、KCA-S210Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。

取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

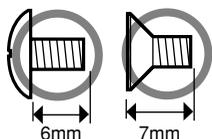


取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

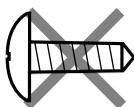
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

実施

付属取付ネジ



その他のネジ

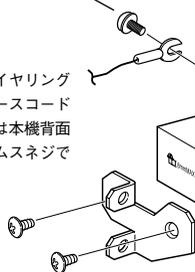


付属ネジ一覧

	トラスネジ (M5 × 6mm)	4
	サラネジ (M5 × 7mm)	4
	セムスネジ (M4 × 8mm)	1

セムスネジ
(M4 × 8mm) (付属)

別売品のワイヤリング
キットにアースコード
がある場合は本機背面
に付属のセムスネジで
固定します。



トラスネジ
(M5 × 6mm) (付属)
または
サラネジ
(M5 × 7mm) (付属)

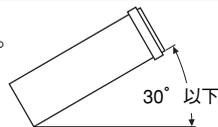
車両ブラケットなど



取り付け／取り外しの際は、CD挿入口の
上部に力を加えないでください。破損する
ことがあります。



本機の取付角度は30° 以下になるように取り付けてください。
30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。



別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	35 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500~200 rpm (線速度一定・倍速)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.005% (1 kHz)
S/N比 (dB)	107 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	95 dB
チャンネルセパレーション	90 dB

オーディオ部

最大出力	40 W \times 4
定格出力	26 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル (FM)	1.8 V/10 k Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (低音)	100Hz \pm 9dB
(中音)	500Hz \pm 9dB
(高音)	10kHz \pm 9dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 160 mm
質量 (重さ)	1.3 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 \times 6mm)	4本
サラネジ (M5 \times 7mm)	4本
セムスネジ (M4 \times 8mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。